

鈴鹿川流域地下水調査解析業務委託公募型プロポーザル審査基準

1 審査項目・配点について

(1) 第一次審査（書類審査）

- ア 企業技術者要件 100 点
- イ 参考見積要件 40 点
- ウ 企画提案書要件 160 点

(2) 第二次審査（プレゼンテーション）

- ア プレゼンテーション 100 点

(3) 合計 400 点

2 審査基準について

評価項目、評価基準及び配点は次のとおりとする。

(1) 第一次審査

- ア 第一次審査は、下記の評点で評価する。

(評点)

| | | |
|-----------|-----------|-----------|
| ①(係数 1.0) | ②(係数 0.6) | ③(係数 0.3) |
| ①に該当。 | ②に該当。 | ③に該当。 |

※上記に該当する評点を加点する。①～③に該当しない場合は加点しない。
ただし、参考見積り要件は評価の基準に記載された点数化方法を使用する。

| 評価項目 | | | 評価の基準 | 配点 | 評価 | 得点 |
|-------|------|---------|---|----|----|----|
| 企業技術者 | 会社要件 | 資格 | 総合監理部門（応用理学-地質）又は応用理学部門（地質）の技術士資格を保有している者の人数 ① 技術士が 20 人以上 ② 技術士が 10 人以上 ③ 技術士が 5 人以上 | 15 | | |
| | | 業務実績 | 同種業務 ^{*1} の実績について、下記により評価する。 ① 同種業務 1 の実績を有する。 ② 同種業務 2 の実績を有する。 ③ 同種業務 3 の実績を有する。 | 10 | | |
| | | 業務実績の件数 | 同種業務 ^{*1} の実績件数について、下記により評価する。 ① 同種業務 ^{*1} の実績が 2 件以上 ② 同種業務 ^{*1} の実績が 1 件以上 | 10 | | |

| | | | | | | |
|-------|-------|------------------|--|-----|--|--|
| | | 業務実績 | 水道水源に関する地下水調査の実績について、下記により評価する。 ① 鈴鹿川流域を対象とした地下水調査の実績を有する。 | 5 | | |
| 管理技術者 | 資格 | 技術者の資格、その専門分野の内容 | 保有資格について、下記により評価する。 ① 総合監理部門（応用理学-地質）の技術士資格を保有 ② 応用理学部門（地質）の技術士資格を保有 | 10 | | |
| | | | 保有資格について、下記により評価する。 ① 建設部門（建設環境）の技術士資格を保有 | 5 | | |
| | 専門技術力 | 業務実績 | 同種業務 ^{*1} の実績について下記により評価する。 ① 同種業務1の実績を有する。 ② 同種業務2の実績を有する。 ③ 同種業務3の実績を有する。 | 15 | | |
| 照査技術者 | 資格 | 技術者の資格、その専門分野の内容 | 保有資格について、下記により評価する。 ① 総合監理部門（応用理学-地質）の技術士資格を保有 ② 応用理学部門（地質）の技術士資格を保有 | 10 | | |
| | | | 保有資格について、下記により評価する。 ^{*3} ① 建設部門（建設環境）の技術士資格を保有 | 5 | | |
| | 専門技術力 | 業務実績 | 同種業務 ^{*1} の実績の実績について下記により評価する。 ① 同種業務1の実績を有する。 ② 同種業務2の実績を有する。 ③ 同種業務3の実績を有する。 | 15 | | |
| 評価点 | | | | 100 | | |

※1：同種業務

県又は市町村における広域を対象とした数値モデルによる地下水流動解析業務
(同種業務の分類)

- ① 同種業務 1 同種業務のうち、地域要件が、市町村における広域を対象とした業務及び、これに係る委員会^{※2}の運営補助を行った業務。
- ② 同種業務 2 同種業務のうち、地域要件が、市町村における広域を対象とした業務。
- ③ 同種業務 3 同種業務のうち、地域要件が、都道府県における広域を対象とした業務

※2：委員会

国、地方公共団体、公共法人、国土交通省令で定める法人及びその他の法人が設置した、業務成果の内容について有識者等から意見を徴取する委員会。

※3：配置予定技術者の加点要件

管理技術者および照査技術者は、建設部門「建設環境」の技術士資格を有する場合、評価点に加点する。

イ 参考見積は下記の評点で評価する。

| 評価項目 | | | 評価の基準 | 配点 | 評価 | 得点 |
|----------|-----------------------|----------------------------|---|----|----|----|
| 参考 見積 | 業 務 コ ス ト | 参 考 見 積 金 額 | 得点 = 配点 × (最も低い見積金額 / 当該事業者の見積金額) なお、得点は小数点以下第1位(小数点第2位を四捨五入)まで算定。 | 40 | | |
| 評価点 | | | | 40 | | |

ウ 企画提案書は下記の評点で評価する。

(評点)

| | | | | |
|------------------------|------------------------|-----------|-------------------------|---------------------------|
| ①(係数 1.0) | ②(係数 0.8) | ③(係数 0.6) | ④(係数 0.4) | ⑤(係数 0.2) |
| 優秀である。 高度の能力を有している。 | 満足できる。 十分な能力を有している。 | 平均的である。 | 物足りなさを感じる。 能力が若干乏しい。 | 全く満足できない。 任せることが不安である。 |

| 評価項目 | | 評価の基準 | 配点 | 評価 | 得点 | |
|-----------------------|----------------|-------|------------------------------------|----|----|--|
| 企 画 提 案 書 | 業 務 実 施 方 針 | 実施方針 | 目的、条件、内容等の業務理解度について評価する。 | 20 | | |
| | | 実施フロー | 本市の意見が反映できるような実施フローとなっているか評価する。 | 20 | | |
| | | 実施工程 | 業務量を把握し、余裕を持った工程計画となっているか評価する。 | 20 | | |
| | | 実施体制 | 業務への取り組み体制について評価する。 | 10 | | |
| | | その他 | 業務に関する知識、有益な代替案、重要事項の指摘がある。 | 10 | | |
| | | 小 計 | | 80 | | |
| | 特定テーマ1 | 的確性 | 着眼点・内容・手法等、明確で分かりやすい表現となっているか評価する。 | 10 | | |
| | 特定テーマ2 | 的確性 | 着眼点・内容・手法等、明確で分かりやすい表現となっているか評価する。 | 10 | | |
| | 特定テーマ3 | 的確性 | 着眼点・内容・手法等、明確で分かりやすい表現となっているか評価する。 | 20 | | |

| | | | | | |
|--------|-----|------------------------------------|-----|--|--|
| 特定テーマ4 | 的確性 | 着眼点・内容・手法等、明確で分かりやすい表現となっているか評価する。 | 20 | | |
| 小計 | | | 60 | | |
| 可視化資料1 | 的確性 | 着眼点・内容・手法等、明確で分かりやすい表現となっているか評価する。 | 10 | | |
| 可視化資料2 | 的確性 | 着眼点・内容・手法等、明確で分かりやすい表現となっているか評価する。 | 10 | | |
| 小計 | | | 20 | | |
| 評価点 | | | 160 | | |

※各委員の評価点を集計し平均点とする。

(2) 第二次審査

第二次審査は、下記の評点で評価する。

(評点)

| | | | | |
|------------------------|------------------------|-----------|-------------------------|---------------------------|
| ①(係数 1.0) | ②(係数 0.8) | ③(係数 0.6) | ④(係数 0.4) | ⑤(係数 0.2) |
| 優秀である。 高度の能力を有している。 | 満足できる。 十分な能力を有している。 | 平均的である。 | 物足りなさを感じる。 能力が若干乏しい。 | 全く満足できない。 任せることが不安である。 |

| 評価項目 | | 評価の基準 | 配点 | 評価 | 得点 |
|-----------|------------|--|-----|----|----|
| プレゼンテーション | プレゼンテーション力 | 企画提案に関する説明が簡潔で分かりやすいかを評価する。 | 20 | | |
| | 専門技術力 | プレゼンテーション・質疑応答を通して、該当分野についての経験・知識・技術力等を評価する。 | 20 | | |
| | 業務への取組意欲 | 業務に対する取組意欲が強く感じられるかを評価する。 | 20 | | |
| | コミュニケーション力 | 質問を通して、応答が明快・迅速・的確かを評価する。 | 20 | | |
| | 可視化資料動画実演 | 誰もが直感的にイメージできる資料となっているか。 | 20 | | |
| 評価点 | | | 100 | | |

※各委員の評価点を集計し平均点とする。